

エゾタヌキの「シロ」が死亡しました



3月27日朝、衰弱しているところを発見し治療を行っていましたが、
3月30日 午前8時半ごろ死亡を確認しました。
解剖の結果、肺膿瘍のほか、肝臓や腎臓にも病変が見られました。
死因については、帯広畜産大学による病理検査でさらに詳しく調べているところです。

これまで「シロ」を可愛がっていただきありがとうございました。
「シロ」の死亡により、エゾタヌキの展示は1頭になります。

シロについて

2008年5月24日生まれ（11歳）、オス
円山動物園で生まれ、2009年6月30日にメスの「クロ」と来園しました。
その後2016年3月に兄妹の「クロ」が死亡したのち、
2017年9月に旭山動物園から来たメスの「あん」（7歳）と仲睦まじく過ごしていました。